

JA自己改革の取り組み状況です

平成28年度より平成30年度の3ヵ年計画として、自己改革に取り組んでおります。
第2年度である平成29年度の主な進捗状況は以下のとおりです。

©よい食P

自己改革 実践中!



テーマ1 東京農業の振興を踏まえた農業者の所得増大

- 販売品取扱高は4億6,835万円となり、前年対比101.4%となりました。
- 3つの直売所運営委員会を統合した「JAあきがわ直売所運営委員会」を設立し、各直売所間での販売品の相互乗り入れ額は4千2百万円余りとなりました。
- ポイントカードシステムを導入し、全組合員に組合員カードを配布した他、会員カードを8,355枚発行しました。
- 新規就農者3名を直売所会員へ受け入れ、農機具レンタルを実施しています。
- 組合員特別価格販売を実施し、安価な購買品・生産資材を提供しました。
- 肥料や生分解マルチ、電気柵、施設栽培用暖房燃料への助成金の支給を行いました。 他



営農支援係による耕作支援・
不耕作地の解消面積 年間804.71a



市町村・都内空白行政区合わせた
学校給食出荷量 年間13.7t



農業用機械の無料点検キャンペーン実施
檜原村役場前26台、ぐりむ80台

テーマ2 地域貢献活動による都民理解の醸成

- 災害協定に基づく協力農地・施設を19ヵ所から23ヵ所に拡大しました。
- 地域コミュニティ事業の内容充実
- 親子農業体験「あぐりスクール」・女性大学の継続開催 他



小学校・幼稚園・保育園の食農教育応援

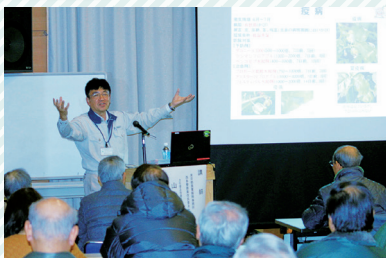


職員の連続職場離脱制度を利用した
農業支援 (66名)



金融店舗や地域の祭りで
地元農産物を販売

テーマ3 組合員と共に歩む組織づくり



ジャガイモ作付拡大へ向けた
講習会開催 (檜原村共催)



女性部AED講習会の開催



青壮年部 花野菜宝船の制作

テーマ4 JA自己改革の実践を支える経営基盤の強化

- 利用度の低い事業・ATMコーナーの検討を行い、武蔵五日市駅ATMコーナーの営業を終了いたしました。
- 不良債権の早期流動化、解消に取り組みました。
- 共済契約者全戸訪問を行うべく、各支店で「3Q訪問活動」を実施しました。
- 体系的な研修実施による職員の育成を図るべく、研修・資格取得支援を行いました。 他

平成30年度も着実に自己改革を実践してまいります。